



TUFS Cinema

ASEAN50周年記念

東南アジア映画特集

2017年 12月9日・16日・23日 2018年 1月6日

会場:東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール



🎬 ミャンマー映画

2017年12月9日(土)

『小さな村の新任教師 Tomorrow』

Tawaya Alintanmya

ミャンマー/ビルマ語/日本語字幕付き/

140分/2011年/劇映画

監督: トンアウンゾー

2012年ミャンマー国内アカデミー映画賞受賞ほか

解説 三井優(脚本家・ミャンマー映画祭実行委員会代表)

🎬 カンボジア映画

2017年12月16日(土)

『ダイヤモンド・アイランド』

Diamond Island

カンボジア、フランス、ドイツ、タイ、カタール/カンボジア語/

日本語字幕付き/99分/2016年/劇映画

監督: デイヴィ・シュエ

2016年カンヌ映画祭 批評家週間劇作家・監督 作家協会(SACD)賞 受賞

解説 本間順子(カンボジア語通訳・映画ライター)

🎬 シンガポール映画

2017年12月23日(土)

『見習い』

Apprentice

シンガポール、ドイツ、フランス、香港、カタール/マレー語、

英語/日本語字幕付き/96分/2016年/劇映画

監督: プー・ジュンフォン

第69回カンヌ国際映画祭ある視点部門ほか出品作

解説 盛田茂(立教大学アジア地域研究所特任研究員)

🎬 マレーシア映画

2018年1月6日(土)

『JAGAT (世界の残酷)』

Jagat

マレーシア/タミル語、マレー語、華語/

日本語字幕付き/79分/2015年/劇映画

監督: サンジェイ・クマル・ベルマル

第28回マレーシア映画祭最優秀作品賞ほか

解説 戸加里康子(東京外国語大学非常勤講師)

TUFS Cinemaとは

東京外国語大学において

大使館・映画配給会社などの

関係機関の支援・協力により

世界の諸言語による

映画・演劇および講演会などを

実施するプロジェクト。

このたび、ASEAN50周年を記念し

「東南アジア映画特集」として

東南アジア地域の映画4本を

上映します。

これらの映画を紹介することにより

各地域の社会文化理解の一端を

担っていくことが

本上映会の目的です。

12月9日(土) 14:00開場 14:30開映

小さな村の新任教師 Tomorrow

Tawaya Alintanmya

1988年反政府活動で多くの若者が犠牲となったあの時代から…現代。ミャンマーのある小さな村に赴任する新任教師がいた。小さな村の学校の生徒は家の手伝いや家族の面倒をみるため学校に行きたくても行けない状況。主人公は教師として初めて遠隔地の学校に赴任する。電気も水道もない村で途方に暮れる。ミャンマーの漫画が原作の異色作。ミャンマー国内アカデミー賞 8部門受賞。

2012年ミャンマー国内アカデミー映画賞受賞。脚本賞・助演男優賞・指導者賞・音楽賞・ベスト映画作品賞・ベスト主演女優賞・ベスト主演男優賞・監督賞

解説：三井優（脚本家・ミャンマー映画祭実行委員会代表）



ミャンマー
2011年/ビルマ語/140分/
劇映画/日本語字幕
監督:トンアウンパー
出演:ナウンナウン、
ルーミン、メロディー、モース

12月16日(土) 14:00開場 14:30開映

ダイヤモンド・アイランド

Diamond Island

経済発展目覚しいカンボジアの首都プノンペン。対岸の中洲島、ダイヤモンド・アイランドと呼ばれる新興開発エリアでも、商業施設や高級住宅の建設ラッシュに沸いている。村を出て、建設労働者としてともに働く仲間たちと暮らすボラは、音信不通だった兄ソーライと再会する。オートバイに乗り、スマートフォンを手にして、夕陽に輝く商業地区のネオンに集う若者たち。女の子たちとの出会いもある中、兄からはアメリカへ行くことと言われるが…。

2016年カンヌ映画祭批評家週間劇作家・監督・作曲家協会(SACD) 賞受賞

解説：本間順子（カンボジア語通訳・映画ライター）



カンボジア、フランス、ドイツ、タイ、カタル
2016年/カンボジア語/99分/
劇映画/日本語字幕
監督:デイヴィ・シュエ
出演:ヌオン・ソボン、ナウ・チアネイ、
メン・ソピーナー、チャム・マディザー



TUFS Cinema 東南アジア映画特集

12月23日(土) 14:00開場 14:30開映

見習い

Apprentice

28歳のアイマンは、凶悪犯罪者刑務所の看守として転任するが、65歳のラヒムから死刑執行助手に指名され、プロ意識を持ち業務を淡々とこなす彼の姿を見て影響を受けるようになる。しかしアイマンは姉の怒りを買うとともに、ラヒムが亡き父の死刑を執行したという忌まわしい事実を知る。後に交通事故に遭い入院したラヒム。アイマンは彼の後継者になれるのだろうか。本作は、アイマンとラヒムの関係を縦糸、姉との葛藤を横糸として、監督自らが元死刑執行者、被死刑者家族への聞き取り調査を行ない、3年かけて脚本を完成させた作品である。第69回カンヌ国際映画祭ある視点部門、第29回東京国際映画祭ワールド・フォーカス部門出品作

解説：盛田茂（立教大学アジア地域研究所特任研究員）



シンガポール、ドイツ、フランス、韓国、カタル
2016年/マレー語、英語/96分/
劇映画/日本語字幕
監督:アー・ジュンフォン
出演:フィル・ラフマン、
ワン・ハナフィ・スー、マストゥラ・アフマド

1月6日(土) 14:00開場 14:30開映

JAGAT(世界の残酷)

Jagat

1990年代初頭、マレーシア半島北部のとある村。タミル映画やマイケル・ジャクソンが好きで少年アボイは、芸術的な才能を見せつつも、教育熱心な父親や学校の教師からは折檻されてばかり。自分のやりたいことを認められぬアボイは、地元のギャンググループの中で頭角を現していく。叔父の生き方に惹かれていく。国の経済開発から取り残され、さらに急速に変わっていく社会環境の中で、アイデンティティを見失い、ギャング活動やドラッグに溺れていくインド系マレーシア人の苦境を描いた佳作。第28回マレーシア映画祭最優秀作品賞・最優秀新人監督賞、2016年クアラルンプール映画批評家賞最優秀作品賞・監督賞・主演男優賞・撮影賞・脚本賞

解説：戸加里康子（東京外国語大学非常勤講師）

マレーシア
2015年/タミル語、マレー語、華語/79分/
劇映画/日本語字幕
監督:サンジェイ・クマール・ペルマル
出演:ハルヴィン・ラージ、
ジブライル・ラジュラ、クワン・マハデヴァン



TUFS Cinema × TUFS オープンアカデミー 特別企画のご紹介!

今年、ASEAN(東南アジア諸国連合)設立50周年を迎え、ますます注目を集めている東南アジア。日本ではまだまだ馴染みの薄い東南アジア映画ですが、最近では日本で開催される国際映画祭で上映されたり、一般の映画館で公開されることも増えてきました。東南アジアの国々でも、映画は人々に愛され、親しまれている娯楽の一つです。この地域ではどのような映画が観られ、どのような映画が作られているのか。

東南アジアの4つの国—ミャンマー、カンボジア、シンガポール、マレーシア—の映画事情をお伝えするため、TUFSシネマ東南アジア映画特集の開催に合わせて、TUFSオープンアカデミー講座「東南アジアの映画を知ろう—ミャンマー、カンボジア、シンガポール、マレーシアの映画と社会」を開講します。本講座は、映画上映会と同日に開講し、上映前に、それぞれの国の映画事情や社会事情を知りたい方だけでなく機会にしたいとも考えています。お気軽にご参加ください。【映画上映会:無料・一般公開、本講座:事前申込制・受講料1,500円/4回・先着60名】

日時	授業内容
12月9日(土)	ミャンマーの映画を知ろう
12月16日(土)	カンボジアの映画を知ろう
12月23日(土)	シンガポールの映画を知ろう
1月6日(土)	マレーシアの映画を知ろう

申込期間:8月23日10時スタート
~11月27日まで

詳細・お申込方法は、オープンアカデミーHPにて
<http://www.tufs.ac.jp/common/open-academy/index.html>

もつと
東南アジア映画
を学ぶ



【交通アクセス】

● JR中央線

「武蔵境」駅のりかえ西武多摩川線「多摩」駅下車徒歩5分
(JR新宿駅から約40分)

● 京王電鉄

「飛田駅」駅北口より多摩駅行き京王バスにて約10分
「東京外国語大学前」下車

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

【お問い合わせ】

東京外国語大学 総務企画課 広報係

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

Tel: 042-330-5150(土日祝をのぞく9:00-17:00)

Email: soumu-koho@tufs.ac.jp

<http://www.tufs.ac.jp>

